

狛江市における GIGA スクール構想



狛江市教育委員会教育部指導室
令和2年9月

GIGA スクール構想の実現

子供たちに一人1台のタブレット型情報端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備



地道に取り組み蓄積されてきた授業実践

GIGA スクール実現による学びのイノベーション!

オンライン学習と教室における対話学習のベストミックスによる「主体的・対話的で深い学び」の実現

特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人ひとりに個別最適化を実現

STEP 1

GIGA スクール実現によって可能になる学びを確認しましょう

学びにおける時間・距離などの制約を取り払うことができる

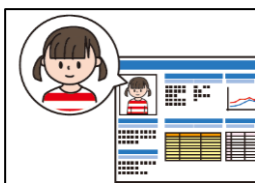


○Office365の各機能を活用して課題を作成し、その課題を児童・生徒が自宅に持ち帰ったタブレット端末を使って取り組むことができます。データによるやり取りのため、児童・生徒の取組状況を即座に把握することができ、適宜、フィードバックを行えます。



○Microsoft Teams、Zoom等を活用し、他地域・海外等の学校との交流学习を推進することができます。また、同機能を活用することで、臨時または長期休業中の児童・生徒の状況把握、児童・生徒との関係づくりに努めることができます。

個別に最適な学びを支援することができる



○デジタル教材等の活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進捗で学習することが容易になります。
○デジタルドリル等による学習データを活用することにより、学習履歴(スタディ・ログ)を蓄積して共有化を図ることができます

児童・生徒間の質の高い協働学習ができる

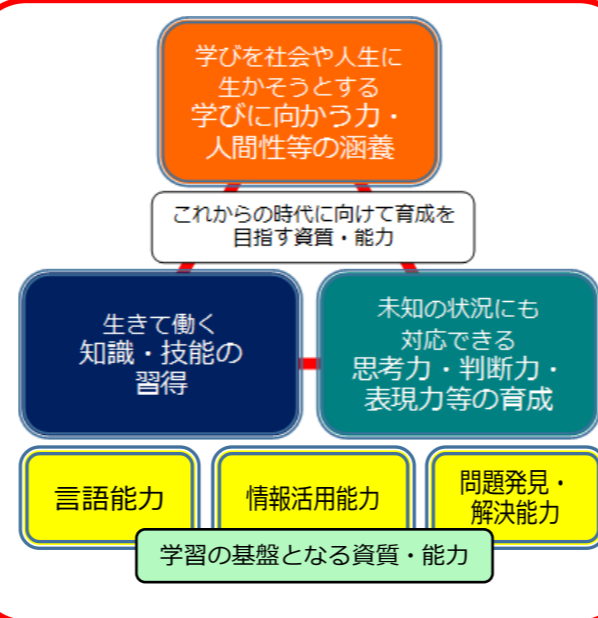


○学習課題に対する自分の考えを、プロジェクターや電子黒板等を活用しながら、グループや学級全体に分かりやすく提示して、発表・話し合いを行うことができます。

○Office365のOneNote等を活用しグループ内で複数の意見・考えを共有し、話し合いを通じて思考を深めながら協働で意見整理を行うことができます。

○タブレット端末を活用して、写真・動画等を用いた資料・作品を、協働で作業しながら制作することができます。

参考 「教育の情報化に関する手引—追補版—」(令和2年6月 文部科学省)
「みんなで取り組むカリキュラム・マネジメント」(平成31年3月 東京都教職員研修センター)



STEP 2

カリキュラム・マネジメントの視点から教育課程を見直しましょう

○教育課程の見直しと、年間指導計画の立案に際しては、各学年の各教科等において、各学校で設定した学校教育目標の実現ができるように留意する。
○一人1台端末の活用を含めた柔軟な教育課程の編成を行うために、学習内容や、身に付ける資質・能力を適切に把握し、複数の指導事項を精選し、効率的かつ効果的に指導を行うための計画を立案する。



一人1台端末を活用した学習で取り扱う学習内容について

○年間指導計画や時間割などの諸計画における位置付けを再検討する。
○学習評価の取扱いを再検討する。
(定期考査の回数・方法(中学校)、長期休業中の課題の取扱いなど)



オンライン学習等の実施に当たって

○「分かりやすさ」に留意し、「教えること」と「考えさせること」を明確にする。
○双方向型のオンラインで、子供同士の「対話による学び」が生まれるようにする。
○子供の参加状況の確認方法と不参加児童・生徒に対するフォローの在り方を検討する。
○部活動のミーティング、個人面談等、授業以外の活用についても検討する。

家庭学習の考え方の見直しについて

○学びの習慣化や学習内容の習熟・定着を図ってきたこれまでの「宿題」から、一人1台端末を活用した家庭での学びを単元やカリキュラムの一部として取り入れる「家庭学習」への一層の関連を図る。



情報リテラシー教育の充実

※情報活用能力と同義。世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて把握し、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力。

○情報や情報手段を主体的に選択し活用する力や、情報技術の基本的な操作、プログラミング的思考や情報モラル等について、バランスよく育成されるよう教育課程を見直す。